

# 特集

## 持続可能な世界都市・さっぽろを目指して

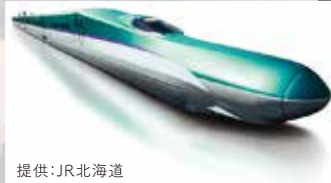
札幌市は、令和4年（2022年）に市制施行100周年を迎えました。魅力的なこのまちを次の世代に引き継いでいくための取組みのうち、3つのプロジェクトに関わる職員に話を聞いてみました。

まちづくり政策局新幹線推進担当課  
山川さん 職種「土木」



北海道新幹線は、2030年度末の札幌延伸開業を予定しており、事業主体である鉄道・運輸機構が、新函館北斗から札幌までの約212kmにおいて建設を進めています。新幹線が札幌まで延伸することで、移動時間の短縮などにより、東北・北関東などの新たな交流圏が生まれ、大きな経済波及効果やライフスタイルの変化など、様々な効果が期待されています。また、新幹線は雪に強いので、冬期間においても安心して利用することができます。まさに、将来の札幌市・北海道にとって大事な社会資本となるものであると考えています。

札幌市としては、1日も早い開業に向けて関係団体と一丸となり、あらゆる面から積極的に取り組むほか、新幹線で生み出される効果が札幌市の発展に確実につながるように、必要な取組みを進めています。



提供：JR北海道

### ● 現在の仕事内容について

北海道新幹線は既存市街地のあるJR札幌駅に乗り入れることになるため、周辺道路の再整備の方法や既存の街並みの調和について、関係者との調整や住民説明などを行っています。また、北海道新幹線の整備効果を最大限に発揮するためには、多くの市民・道民の皆様を知っていただく必要があることから、道内外のイベントでのPR活動や、学校・町内会・企業での新幹線に関する出前講座等の普及啓発活動についても行っています。

### ● 仕事のやりがいや魅力について

北海道新幹線においては、山岳トンネル等の大規模な構造物が施工されているため、工事現場に行く度、このような規模の大きな工事に携わっていることに感嘆しています。また、新幹線整備は関係者が多岐にわたるため、自分のイメージどおりに調整が整った時に達成感を感じます。業務の中で「札幌開業が楽しみ」という声を聞いた際には、市民に必要とされる施設整備に携わっていることに魅力を感じ、やりがいにつながっています。

### ▲ 未来の後輩へ

北海道新幹線の札幌延伸に向けて、札幌市のまちづくりも運動して大きく動いており、多くの部署の職員が連携しながらそれぞれの事業を進めています。所属する部署により、携わる仕事はそれぞれ違いますが、札幌市職員の仕事はどの部署の仕事も「札幌の未来」につながっていきます。北海道新幹線の札幌延伸により、さらに多くの方が訪れることになる札幌市のまちづくりを担う仲間として、一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

## 新幹線プロジェクト

## 都心まちづくりプロジェクト

まちづくり政策局都心まちづくり課  
牧野さん 職種「一般事務」



### ● 現在の仕事内容について

主に、北5西1・西2地区再開発事業の調整や支援に携わっています。本事業では、札幌市も地権者の1人であることから、毎日様々な外部会議に出席し、事業関係者と共に施設計画や事業スケジュールの検討を行っています。また、市内部においては、本件再開発が様々な行政課題の解決に寄与することができるよう多くの部局と情報共有や意見交換を進めるなど、適切な官民連携の実現に向けた窓口としての調整も行っています。

### ● 仕事のやりがいや魅力について

プロジェクト自体が魅力的ではありますが、特にJR北海道や事業関係者の皆さんと毎日一緒に仕事ができることにやりがいを感じます。目指すゴールは同じでも、規模が大きい分、様々な見解や利害が交錯します。例えば、まちづくりへの効果だけに着目しても事業採算性は確保できません。こういった点について経験豊富な方々から学び、共に理解・解決し前に進んでいく状況というのは、滅多に経験できることではないと感じています。

### ▲ 未来の後輩へ

自分は何か秀でた能力があるわけではないことから、皆に助けをもらわないと生きていけないので、前向きな姿勢と笑顔を絶やさないとだけは強く意識してきました。結果、周りにとても助けられて今に至るとともに、今もなお助けられ続けています。出会った方々全員に感謝しています。感謝の気持ちを忘れず、大きな声で挨拶ができれば、あなたの周りにはたくさんの味方で溢れるはずだと思います!!一緒に頑張りましょう!!

### ● 現在の仕事内容について

主に、北5西1・西2地区の再開発事業や新幹線駅舎の事業計画に係る調整に携わっています。新しい建物は、多様な交通機能との結節点となり、多くの方に利用してもらうためのパブリックスペースが整備される予定です。市民や来街者など多くの方が訪れた時に、札幌のまちを好きだと思ってもらえるよう、施設の整備計画等を調整しています。また、道路空間を活用した建物の建築など、チャレンジングな計画の調整も行っています。

### ● 仕事のやりがいや魅力について

北5西1・西2地区では、設計やデザイナーの方など、国内外の第一線で活躍されている方と仕事を一緒にさせていただけたことは、とても良い経験になりました。まちづくりは、開発事業者や利用者など、多様な方と共同で進めていく必要があります。その中で、市の職員は、単独の事業だけではなく、全体のまちづくりを考えながら事業を相互に連携させていく視点を持ち、様々な事業に携わることができるのが魅力だと思います。

### ▲ 未来の後輩へ

私は建築職で、これまで建築確認、学校施設の計画、都市計画など様々な業務に携わりました。定期的な異動がありますが、どの部署にいても、札幌のまちの将来を考えながら、実際にまちづくりに携わることができるのが魅力だと感じております。実際の業務では、多様な職種とかかわりあいながら仕事ができるので、専門性を意識しながらも、視野を広く持って仕事ができると思います。皆様と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

まちづくり政策局都心まちづくり課  
宮浦さん 職種「建築」



提供：札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発組合

経済観光局産業立地・戦略推進課  
北館さん 職種「一般事務」



札幌市では人材の豊富さや災害リスクの低さ、暮らしやすさなどを強みとして、企業の本社・本社機能やIT・コンテンツ・バイオ企業などの誘致に取り組んでいます。現在、札幌市中心部では、大規模な再開発事業が続々と計画されており、2020年～2030年までの間に、札幌ドーム5.5倍にあたる、約30万㎡のオフィスが供給される見込みです。この流れを絶好の機会と捉え、「札幌が、大きく、新しく、変わる」という意味を含めた「大札新」をスローガンに掲げ、民間事業者とも連携しながら道外企業に向けた誘致プロモーションを展開しています。



### ● 現在の仕事内容について

多くの企業にご進出いただけるよう、東京でのセミナー開催や展示会出展、メディア掲載等のPR事業を行い、「大札新」や札幌のビジネス環境の魅力を発信しています。また、進出を検討している企業には、学校訪問やオフィス内覧などの札幌視察をアレンジするなど、拠点開設がスムーズに進むよう全力でサポートします。さらに、庁内関係部局と連携しながら、オフィスや工業用地など立地環境の魅力を向上させる施策にも取り組んでいます。

### ● 仕事のやりがいや魅力について

企業誘致は成果が見える仕事です。札幌が選ばれたときは嬉しいし、ほかの都市に進出が決まったときは悔しい。「札幌を選んでよかった」と言っていたときには大きなやりがいを感じます。最近では、半導体やGXなど最先端のビジネス分野に触れることもあります。初めは戸惑うこともありますが、様々な業界の方に出会いながら、国内外の大きな潮流に関わることで自分自身の視野が広がることを感じています。

### ▲ 未来の後輩へ

私はこれまで税金の納付相談、人事、企業誘致、国際交流、民間派遣を経験してきましたが、どの仕事をとっても新たな気づきや学び、庁内外の様々な人との出会いがあり、自分を成長させてくれました。札幌市は観光都市としてはもちろんのこと、ビジネスの街として、豊かな暮らしを送ることのできる街として進化し続けており、市役所ではこうしたまちづくりに幅広い面から携わることができず。皆さんと一緒に札幌の未来をつくっていきませんか。

## 企業誘致プロジェクト